

第3学年普通科

シラバス（地理歴史）科

愛媛県立大洲高等学校

教科	地理歴史	科目	地理探究	学年	3	類型	Ⅲ型
単位数	3単位	教科書	新詳 地理探究 詳解現代地図 最新版	出版社	帝国書院 二宮書店		
副教材	新詳地理資料COMPLETE2024						

学習の到達目標

<p>(1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。</p> <p>(2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深める。</p>

授業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・「地理総合」の学習によって身に付けた知識や資質・能力を基に、系統地理的な考察、地誌的な考察によって習得した知識や概念を活用して、現代世界に求められるこれからの日本の国土像を探究する力の育成を目指します。 ・系統地理の学習では、地理的な諸事象を項目別に取り上げ、空間的な傾向や規則性、関連する課題の要因などを考察します。 ・地誌の学習では、地理的な諸事象を、視点を変えて地域的な枠組みで捉え、事象同士を有機的に関連付けて考察したり、類似的または対照的な性格の二つの地域を比較して考察したりします。 ・ペアワークやグループワークを積極的に行い、学習内容を基にした探究活動を多く取り入れます。

評価の観点・方法

次の3つの観点に基づき、各学期ともに定期考査までの学習内容のまとめりごとに、下記の評価項目により観点ごと総括した評価結果を合計して、それを基に学期末・学年末に総括（評定）します。

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価規準	地理に関わる諸事象に関して、世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や、世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解しているとともに、地図や地理情報システムを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関係を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存関係、地域などに着目して、系統地理的、地誌的に、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするこの大切さについての自覚などを深めている。
評価の対象	定期考査・課題確認テスト・授業時の観察など	定期考査・課題レポート・授業時の観察など	学習への参加状況など
備考	<p>・ 観点別学習状況は3段階で表し、3段階の表示は、A、B、Cとし、科目の目標に基づきその達成状況を「十分満足できる」：A、「おおむね満足できる」：B、「努力を要する」：Cとして評価します。</p> <p>・ 「評定」は、上記「観点別学習状況の評価」を総括し、その結果を5段階で表します。</p> <p>5 … 十分満足できると判断できるもののうち特に程度の高いもの</p> <p>4 … 十分満足できると判断できるもの</p> <p>3 … おおむね満足できると判断できるもの</p> <p>2 … 努力を要すると判断されるもの</p> <p>1 … 一層努力を要すると判断されるもの</p>		

年間学習計画

学期	単元	学習内容とねらい（内容のまとめりごとの評価規準）	定期考査		
1 学期	第1部 現代世界の系統地理的考察 第1章 自然環境	<ul style="list-style-type: none"> ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、地球環境問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 	1 学期 中間考査		
	第2章 資源と産業	<ul style="list-style-type: none"> ・地形、気候、生態系などに関わる諸事象について、場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、資源・エネルギー、食料問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・資源・エネルギーや農業、工業などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・資源、産業について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 			
第3章 交通・通信と観光、貿易	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、交通・通信、観光に関わる問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 	1 学期 期末考査			
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信網と物流や人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通・通信、観光について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 				
2 学期	第4章 人口、村落・都市	<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、人口、居住・都市問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 	2 学期 中間考査		
		<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・人口、都市・村落について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 			
	第5章 生活文化、民族・宗教	<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を基に、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、民族、領土問題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象について、場所の特徴や場所の結び付きなどに着目して、主題を設定し、それらの事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを多面的・多角的に考察し、表現している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・生活文化、民族・宗教について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 			
	第2部 現代世界の地誌的考察 第1章 現代世界の地域区分	<ul style="list-style-type: none"> ・世界や世界の諸地域に関する各種の主題図や資料を基に、世界を幾つかの地域に区分する方法や地域の概念、地域区分の意義などについて理解している。 		2 学期 期末考査	
		<ul style="list-style-type: none"> ・世界や世界の諸地域の地域区分について、地域の共通点や差異、分布などに着目して、主題を設定し、地域の捉え方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 			
		第2章 現代世界の諸地域			<ul style="list-style-type: none"> ・幾つかの地域に区分した現代世界の諸地域を基に、諸地域に見られる地域的特色や地球的課題などについて理解している。
					<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の諸地域について、地域の結び付き、構造や変容などに着目して、主題を設定し、地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し、表現している。
					<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土像 第1章 持続可能な国土像の探究	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究する手法などについて理解している。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界におけるこれからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、表現している。 				
	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な国土像の探究について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に探究しようとしている。 				